Press Letter

じゃらんリサーチセンター

RECRUIT 株式会社リクルート

2026年7月15日

【都道府県魅力度ランキング編】
じゃらん観光国内宿泊旅行調査 2026
香川県が2年連続総合満足度1位
石川県は“食”で1位、沖縄県はテーマ別6部門でトップ

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：牛田 圭一）の観光に関する調査・研究、地域振興機関『じゃらんリサーチセンター』（JRC、センター長：高橋 佑司）は、全国1万5,548人の宿泊旅行者を対象に「じゃらん観光国内宿泊旅行調査2026」を実施しました。この調査は、観光などを目的とした宿泊を伴う国内旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）の実態を調べるものです。2025年度（2025年4月～2026年3月）の主な結果は以下の通りです。

【主な結果】

総合満足度		
全体平均		84.2
1位	香川県	89.2
2位	長崎県	88.7
3位	岐阜県	88.5
4位	石川県	88.3
5位	沖縄県	88.0

地元ならではのおいしい食べ物があった		
全体平均		66.5
1位	石川県	79.6
2位	香川県	78.6
3位	宮崎県	78.5
4位	宮城県	77.4
5位	富山県	77.3

魅力のある特産品や土産物があった		
全体平均		55.3
1位	沖縄県	68.3
2位	石川県	65.3
3位	北海道	64.7
4位	福岡県	63.9
5位	香川県	63.7

魅力的な宿泊施設があった		
全体平均		60.5
1位	沖縄県	72.5
2位	大分県	70.4
3位	山形県	69.6
3位	千葉県	69.6
5位	群馬県	67.9

地元の人のホスピタリティを感じた		
全体平均		37.2
1位	沖縄県	56.5
2位	山形県	44.6
3位	青森県	44.2
4位	高知県	44.0
5位	大分県	42.5

子どもが楽しめるスポットや施設・体験があった		
全体平均		35.0
1位	千葉県	56.1
2位	沖縄県	51.8
3位	福井県	42.7
4位	大阪府	42.6
5位	大分県	42.1

若者が楽しめるスポットや施設・体験があった		
全体平均		37.0
1位	千葉県	56.1
2位	沖縄県	55.4
3位	大阪府	48.1
4位	北海道	41.5
5位	東京都	40.6

大人が楽しめるスポットや施設・体験があった		
全体平均		51.1
1位	沖縄県	65.4
2位	千葉県	60.7
3位	長崎県	59.0
4位	京都府	57.9
5位	三重県	57.7

ご当地ならではの体験・アクティビティが楽しめた		
全体平均		47.8
1位	沖縄県	69.2
2位	大分県	57.0
3位	北海道	56.0
4位	千葉県	54.8
5位	山梨県	53.2

現地で良い観光情報を入手できた		
全体平均		35.9
1位	沖縄県	52.8
2位	北海道	42.1
3位	長崎県	41.5
4位	京都府	41.4
5位	鳥取県	40.3

【参考】今後行きたい旅行先		
1位	北海道	27.2
2位	沖縄県	20.0
3位	東京都	9.6
4位	京都府	9.4
5位	福岡県	8.3

（単位：%）

本件に関するお問い合わせ先
https://www.recruit.co.jp/support/form/

《担当研究員コメント》JRC研究員　池内 摩耶（いけうち まや）

国内宿泊旅行実施率が伸び悩む中でも、満足度の高い地域では、食や土産物、体験などを通じて、旅行者が「その土地に来たからこそ」の価値を実感できることが、旅行者の満足感につながっているように見えます。総合満足度で2年連続1位となった香川県は、延べ宿泊旅行者数、旅行費用ともに前年度から増加しました。旅行費用は全国平均よりも低く、比較的リーズナブルに楽しめることも魅力の一つです。また、「地元ならではのおいしい食べ物」で2位、「魅力のある特産品や土産物」で5位に入っており、うどんをはじめとした食や土産物など、地域らしさを感じられる要素が旅行者に伝わりやすいエリアなのかもしれません。2025年度は瀬戸内国際芸術祭も開催され、瀬戸内らしい景観や島々、アート、歴史文化と結び付いた体験も、旅行者の満足度を高めた可能性があります。石川県は総合満足度で4位、「地元ならではのおいしい食べ物」で1位、「魅力のある特産品や土産物」で2位に入り、海鮮や寿司、のどぐろ、地酒、金箔、和菓子、九谷焼など、石川県ならではの食や文化が高く評価されています。復興が進む中で、こうした地域の魅力が改めて旅行者の満足感につながった結果と言えそうです。
今回の結果からは、食や土産物、景観、文化など、地域に根差した魅力を旅の中で具体的に実感できることが、旅行者の満足度を高めていることが見えてきます。地域らしさは、そこに「ある」だけではなく、旅行者が旅の中で出会い、味わい、体験できる接点として届けられてこそ、旅先での満足感につながるのではないでしょうか。

調査結果の公表に合わせ、担当研究員が調査の結果や注目ポイントを解説するオンライン報告会を開催します。

JRC調査報告会：「じゃらん観光国内宿泊旅行調査2026」
開催日時：2026年7月16日（木）15:00～16:00
開催方式：YouTubeライブ配信
※後日、アーカイブでもご視聴いただけます。
参加方法：事前申込不要
視聴URL：https://jrc.jalan.net/seminar/7939/

調査概要

●調査対象旅行期間　2025年度（2025年4月～2026年3月）に行われた国内宿泊旅行
●調査方法　インターネット調査

■1次調査

①調査目的	全国の国内宿泊旅行実施者を抽出することに加え、 性年代別の宿泊旅行実施率を知るために実施
②調査時期	2026年4月1日（水）～ 2026年4月21日（火）
③調査対象	全国18～79歳の男女（株式会社マクロミルの登録モニター）
④配信数	108万1,685件 ※2次調査において都道府県別、性年代別の割り付けに合った回収が得られるように配信
⑤調査内容	2025年度（2025年4月～2026年3月）1年間の国内宿泊旅行 （出張・帰省・修学旅行などを除く）の有無について
⑥回収数	6万9,854件（回収率6.5％）
⑦集計対象者	2万件 ※回収された6万9,854件のうち都道府県別、性年代別に割り付けを行い2万件を抽出し、 性年代別宿泊旅行実施率を算出

■2次調査

①調査目的	全国の国内宿泊旅行実施者に対して、国内宿泊旅行の内容を知るために実施
②調査時期	2026年4月10日（金）～ 2026年4月21日（火）
③調査対象	2万7,966件 1次調査において、「昨年度1年間に国内宿泊旅行をした」と回答した人：3万3,643件
④配信数	2万7,966件 ※配信数は対象者の中から都道府県別、性年代別の割り付けに合わせてランダムに抽出
⑤調査内容	昨年度1年間に実施した全ての国内宿泊旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）の 行き先と回数について、また一人最大3件までの個別国内宿泊旅行について、 具体的な内容を調査
⑥回収数	1万5,589件（回収率55.7％）
⑦有効回答数	1万5,548件（旅行件数ベース3万139件）

テーマ別　都道府県魅力度ランキング

■ 総合満足度

1位：香川県　2位：長崎県　3位：岐阜県

香川県が2年連続で1位を獲得。岐阜県がトップ3入り
トップ10には中四国エリアから3県がランクイン

1位は香川県で89.2%。前年度に続き2年連続で1位を獲得した。2位は長崎県で、前年度3位から順位を上げた。3位には、前年度トップ10圏外だった岐阜県がトップ3にランクイン。ほか、長野県、宮城県、高知県、島根県も新たにトップ10入りした。中四国からは香川県、高知県、島根県の3県がランクイン。一方、北海道・首都圏・関西からのトップ10入りはなかった。

（単位：%）

2025年度 順位	
全体平均	84.2
1位 香川県	89.2
2位 長崎県	88.7
3位 岐阜県	88.5
4位 石川県	88.3
5位 沖縄県	88.0
6位 長野県	87.7
6位 三重県	87.7
8位 宮城県	87.6
8位 高知県	87.6
10位 島根県	87.5

2024年度 順位	
全体平均	84.1
1位 香川県	91.3
2位 沖縄県	89.4
3位 長崎県	88.9
4位 石川県	88.5
5位 鳥取県	88.0
5位 熊本県	88.0
5位 大分県	88.0
8位 山梨県	87.0
8位 三重県	87.0
8位 鹿児島県	87.0

■ 地元ならではのおいしい食べ物があった

1位：石川県　2位：香川県　3位：宮崎県

海鮮や寿司、のどぐろが人気の石川県がトップ
2位の香川県はうどんが圧倒的多数

1位は石川県で、2023年度以来の1位返り咲きとなった。「海鮮・魚介類」「寿司・回転寿司」「のどぐろ」などが多く挙がり、海の幸を中心とした食の魅力が評価された。2位は香川県で、「讃岐うどん」が回答の6割超を占め、地元ならではの食として強い支持を集めている。3位は宮崎県で、「チキン南蛮」を筆頭に、「地鶏・鶏料理」「宮崎牛」など、肉料理を中心に多様な名物が挙がった。ほか、新たにトップ10入りした富山県では「海鮮・魚介類」、島根県では「出雲そば」、愛媛県では「鯛めし」など、各県を代表する食に関する回答が目立った。

（単位：%）

2025年度 順位	
全体平均	66.5
1位 石川県	79.6
2位 香川県	78.6
3位 宮崎県	78.5
4位 宮城県	77.4
5位 富山県	77.3
6位 高知県	77.2
7位 長崎県	76.8
8位 北海道	75.4
9位 島根県	75.2
9位 愛媛県	75.2

2024年度 順位	
全体平均	67.1
1位 高知県	82.6
2位 長崎県	80.5
3位 山形県	79.8
4位 広島県	78.4
5位 北海道	77.5
6位 石川県	77.1
7位 香川県	76.3
8位 熊本県	76.0
9位 大分県	74.7
10位 宮城県	74.6

■ 魅力のある特産品や土産物があった

1位：沖縄県　2位：石川県　3位：北海道

沖縄県が2年連続トップ
菓子類から工芸品まで幅広く人気

1位は2年連続で沖縄県。「ちんすこう」「紅芋タルト」などの菓子類に加え、「シーサー」「琉球ガラス」「やちむん」などの工芸品、「海ぶどう」「雪塩・石垣の塩」「パイナップル」「泡盛」など、沖縄県ならではの特産品が幅広く挙がった。2位は石川県で、「酒・地酒・日本酒」「のどぐろ」「金箔製品」「九谷焼」「輪島塗」など、食と工芸の両面で多様な品目が評価された。3位は北海道で、北海道を代表する菓子類や「海鮮・魚介類」が挙がった。ほか、4位の福岡県では「明太子」や福岡銘菓、5位の香川県では「讃岐うどん」など、各道県ならではの品目が挙がった。

（単位：%）

2025年度 順位	
全体平均	55.3
1位 沖縄県	68.3
2位 石川県	65.3
3位 北海道	64.7
4位 福岡県	63.9
5位 香川県	63.7
6位 宮城県	62.0
7位 長崎県	61.8
8位 広島県	61.5
9位 京都府	61.4
10位 山口県	61.0
10位 高知県	61.0

2024年度 順位	
全体平均	55.7
1位 沖縄県	68.6
2位 長崎県	66.7
3位 鹿児島県	66.3
4位 石川県	66.1
5位 福井県	66.0
6位 北海道	65.8
7位 広島県	65.2
8位 山形県	63.2
9位 京都府	63.0
10位 愛媛県	62.7

■ 魅力的な宿泊施設があった

1位：沖縄県　2位：大分県　3位：山形県・千葉県

リゾートエリアと温泉地の宿泊施設が人気
山形県、群馬県、静岡県、三重県が新たにトップ10入り

1位の沖縄県は、離島を含めたリゾートホテルやラグジュアリーホテルが多く挙がり、2位の大分県は、別府や由布院などの温泉地にある宿泊施設が支持を集めた。3位の山形県は、銀山・蔵王などの有名温泉宿の名前が目立つ。リゾートエリアや温泉地を有する県が上位に入った。新たにトップ10入りした群馬県では草津・伊香保をはじめとする温泉地の宿泊施設、静岡県では熱海・浜名湖・焼津などの温泉やリゾートホテル、三重県では伊勢志摩・鳥羽エリアのリゾートホテルや観光施設一体型の宿泊施設の名前が挙がった。

（単位：%）

2025年度 順位	
全体平均	60.5
1位 沖縄県	72.5
2位 大分県	70.4
3位 山形県	69.6
3位 千葉県	69.6
5位 群馬県	67.9
6位 和歌山県	67.6
7位 福島県	67.4
8位 長崎県	67.1
9位 静岡県	66.7
10位 三重県	66.4

2024年度 順位	
全体平均	60.2
1位 沖縄県	71.8
2位 大分県	71.1
3位 佐賀県	69.8
4位 福島県	68.7
4位 千葉県	68.7
6位 和歌山県	68.6
7位 熊本県	67.6
8位 栃木県	67.2
9位 長崎県	66.7
10位 山梨県	66.2

テーマ別　都道府県魅力度ランキング

■ 地元の人のホスピタリティを感じた

1位：沖縄県　2位：山形県　3位：青森県

地元の人との会話や触れ合いが印象に
旅先の接点からその土地らしさを実感

1位の沖縄県は、宿泊施設や飲食店、アクティビティなど、観光客と地元の人が接するさまざまな場面で、対応の良さや親しみやすさを感じたという声が多い。2位の山形県は、温泉地や宿泊施設での接客に加え、直売所や飲食店などでの会話を通じて、地元の人の温かさを感じたという声が多い。3位の青森県は新たにトップ10入りし、宿泊施設や観光施設に加え、道の駅、祭り、移動中の会話など、旅先での偶発的な交流も評価につながっている。

（単位：%）

2025年度 順位	
全体平均	37.2
1位 沖縄県	56.5
2位 山形県	44.6
3位 青森県	44.2
4位 高知県	44.0
5位 大分県	42.5
6位 北海道	42.1
7位 鹿児島県	41.7
8位 熊本県	41.6
9位 秋田県	41.5
10位 徳島県	40.6
10位 長崎県	40.6

2024年度 順位	
全体平均	36.4
1位 沖縄県	55.3
2位 山形県	47.2
3位 高知県	46.5
4位 鹿児島県	45.6
5位 福井県	43.7
6位 北海道	41.2
7位 長崎県	41.0
8位 福島県	40.5
9位 岐阜県	40.3
10位 京都府	40.1
10位 愛媛県	40.1

■ 子どもが楽しめるスポットや施設・体験があった

1位：千葉県　2位：沖縄県　3位：福井県

テーマパークや水族館が人気の4府県が上位
福井県がトップ3入り、恐竜関連施設が人気

1位の千葉県は、有名テーマパークを中心に、水族館や海・海水浴場、牧場などを推す声が多かった。2位の沖縄県は、水族館やビーチ、プールに加え、新たなテーマパークやマリンアクティビティなど、自然を生かした体験型スポットが目立つ。3位の福井県は新たにトップ3入りし、恐竜関連施設を挙げる人が多い。4位の大阪府は、有名テーマパークに加え、大阪・関西万博も挙がった。7位の北海道と10位の熊本県は新たにトップ10入りした。

（単位：%）

2025年度 順位	
全体平均	35.0
1位 千葉県	56.1
2位 沖縄県	51.8
3位 福井県	42.7
4位 大阪府	42.6
5位 大分県	42.1
6位 和歌山県	38.3
7位 北海道	37.7
7位 長崎県	37.7
9位 三重県	36.9
10位 熊本県	35.2

2024年度 順位	
全体平均	34.2
1位 千葉県	55.2
2位 沖縄県	48.1
3位 大阪府	41.9
4位 福井県	41.8
4位 三重県	41.8
6位 和歌山県	40.9
7位 長崎県	39.8
8位 香川県	38.8
8位 大分県	38.8
10位 山梨県	36.9

■ 若者が楽しめるスポットや施設・体験があった

1位：千葉県　2位：沖縄県　3位：大阪府

上位3府県は前年度から変わらず
テーマパークや自然体験、まち歩きが人気

1位の千葉県は、有名テーマパークを中心に、ショッピング施設や水族館、海などを推す声が多かった。2位の沖縄県は、マリンアクティビティや水族館、ビーチに加え、テーマパークや国際通りなど、自然体験からまち歩きまで幅広い。3位の大阪府も有名テーマパークが一番人気だが、2025年度は大阪・関西万博も挙がったほか、なんば・道頓堀、買い物、ライブ、スポーツ観戦など楽しみ方は多岐にわたる。7位には神奈川県が新たにランクインし、横浜・みなとみらい、中華街、箱根、江の島・鎌倉など、多様なスポットが挙がった。

（単位：%）

2025年度 順位	
全体平均	37.0
1位 千葉県	56.1
2位 沖縄県	55.4
3位 大阪府	48.1
4位 北海道	41.5
5位 東京都	40.6
6位 長崎県	40.1
7位 神奈川県	39.6
8位 大分県	39.1
9位 福岡県	38.0
10位 京都府	37.7

2024年度 順位	
全体平均	36.9
1位 千葉県	56.1
2位 沖縄県	53.3
3位 大阪府	48.5
4位 長崎県	41.5
5位 北海道	40.4
6位 福岡県	40.0
7位 東京都	39.4
8位 三重県	39.0
9位 大分県	38.7
10位 京都府	38.6

■ 大人が楽しめるスポットや施設・体験があった

1位：沖縄県　2位：千葉県　3位：長崎県

テーマパークから買い物、自然、歴史文化まで　大人の楽しみ方は地域ごとに多様

1位の沖縄県は、海や水族館に加え、テーマパーク、国際通り、アメリカンビレッジ、居酒屋など、自然体験からまち歩きまで幅広い回答が挙がった。2位の千葉県はテーマパークが圧倒的に人気だが、水族館やショッピング施設、海、温泉、寺社なども見られた。3位の長崎県はテーマパークが最も多く、軍艦島、出島、グラバー園、教会など、歴史文化に関するスポットも目立つ。10位には香川県が新たにランクインし、金刀比羅宮をはじめとする神社仏閣のほか、水族館、公園、美術館、島めぐり、アート関連のスポットなどが挙がった。

（単位：%）

2025年度 順位	
全体平均	51.1
1位 沖縄県	65.4
2位 千葉県	60.7
3位 長崎県	59.0
4位 京都府	57.9
5位 三重県	57.7
6位 大阪府	56.7
7位 奈良県	55.8
8位 大分県	54.6
9位 北海道	54.3
10位 香川県	52.7

2024年度 順位	
全体平均	51.8
1位 沖縄県	63.6
2位 千葉県	61.4
3位 三重県	59.2
4位 長崎県	59.1
5位 京都府	58.2
6位 福井県	57.2
7位 北海道	56.7
8位 大分県	54.5
9位 山梨県	53.6
10位 大阪府	53.5
10位 広島県	53.5

テーマ別　都道府県魅力度ランキング

■ ご当地ならではの体験・アクティビティが楽しめた

1位：沖縄県　2位：大分県　3位：北海道

沖縄県はマリンアクティビティが圧倒的人気
上位道県では温泉や雪の体験も

1位の沖縄県は、シュノーケリングやダイビングなどのマリンアクティビティが圧倒的に人気。テーマパークやクルーズ、島めぐりなども挙がった。2位の大分県は温泉が最も多く、地獄めぐりや露天風呂、足湯など、温泉地ならではの体験が支持された。3位の北海道は温泉を中心に、スキー・スノーボード、スポーツ観戦、クルーズ、乗馬など幅広い体験が見られた。新たにトップ10入りした青森県、長野県、愛媛県、岐阜県では、温泉のほか、祭り、りんご狩り、登山、サイクリング、鵜飼など、各県ならではの体験が挙がった。

（単位：%）

2025年度 順位	
全体平均	47.8
1位 沖縄県	69.2
2位 大分県	57.0
3位 北海道	56.0
4位 千葉県	54.8
5位 山梨県	53.2
6位 青森県	53.1
7位 長野県	52.9
8位 愛媛県	51.1
9位 岐阜県	50.1
9位 鹿児島県	50.1

2024年度 順位	
全体平均	46.9
1位 沖縄県	64.0
2位 大分県	55.3
3位 北海道	54.6
4位 鹿児島県	54.3
5位 福島県	51.2
6位 栃木県	50.9
7位 千葉県	50.7
8位 和歌山県	50.5
9位 山梨県	50.4
10位 三重県	50.2

■ 現地で良い観光情報を入手できた

1位：沖縄県　2位：北海道　3位：長崎県

宿泊施設や観光案内所での入手情報を評価
地元ならではの飲食店・観光情報も

1位は沖縄県、2位は北海道、3位は長崎県。宿泊施設や観光案内所、駅、道の駅など、現地で直接得られた情報に関する回答が多い。特にホテルスタッフやガイド、タクシー運転手、地元の人など、人を介しておすすめの飲食店や観光スポットを知ったケースが多く見られた。パンフレットやチラシ、現地施設での案内に加え、地元ならではの旬な情報や旅先で役立つ具体的な情報が、満足につながっていることがうかがえる。

（単位：%）

2025年度 順位	
全体平均	35.9
1位 沖縄県	52.8
2位 北海道	42.1
3位 長崎県	41.5
4位 京都府	41.4
5位 鳥取県	40.3
6位 高知県	40.0
7位 青森県	39.8
8位 奈良県	39.7
8位 広島県	39.7
10位 秋田県	39.6
10位 山形県	39.6

2024年度 順位	
全体平均	35.2
1位 沖縄県	52.9
2位 鹿児島県	45.6
3位 山形県	43.6
4位 高知県	43.2
5位 北海道	43.0
6位 京都府	42.6
7位 山口県	42.4
8位 長崎県	40.7
9位 岡山県	40.1
10位 島根県	39.5

■ 【参考】今後行きたい旅行先ランキング

1位：北海道　2位：沖縄県　3位：東京都

上位4都道府県は前年度と同じ
鹿児島県が新たにトップ10入り

今後行きたいと思う旅行先を3つまで挙げてもらったところ、1位は北海道、2位は沖縄県、3位は東京都となった。上位4都道府県は前年度と同じで、北海道と沖縄県が引き続き高い人気を維持している。トップ10の顔ぶれはおおむね前年度と同様だが、鹿児島県が新たにトップ10入りした。

（単位：%）

2025年度 順位	
1位 北海道	27.2
2位 沖縄県	20.0
3位 東京都	9.6
4位 京都府	9.4
5位 福岡県	8.3
6位 大阪府	7.8
7位 長野県	6.3
8位 神奈川県	5.6
9位 静岡県	5.2
10位 長崎県	4.9
10位 鹿児島県	4.9

2024年度 順位	
1位 北海道	30.4
2位 沖縄県	20.7
3位 東京都	9.9
3位 京都府	9.9
5位 大阪府	9.6
6位 福岡県	7.8
7位 長野県	5.8
8位 神奈川県	5.4
9位 静岡県	4.8
10位 石川県	4.6
10位 長崎県	4.6

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、人材派遣、マーケティング・マッチング・テクノロジーの３事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。
リクルートグループ：https://recruit-holdings.com/ja/　　リクルート：https://www.recruit.co.jp/